

地域獣害対策協議会による取り組み



平成25年度末時点での防護柵の総延長は約360kmにわたり、津市～横浜間の距離に相当

里山と農地の間に設置された防護柵



ロケット花火によるサルの追い払い

現在、市内には13の地域獣害対策協議会が設置され、農作物を守るため、地域ぐるみで有害獣の追い払い活動などが行われています。



田んぼの周りに設置された電気柵



水路に設置された電気柵(フラッドゲート)



白山町上ノ村地区



榊原地区

前葉市長が白山町上ノ村地区と榊原地区の皆さんによる取り組みを現地視察(平成26年7月22日)



防護柵のおかげで、野菜やコメなどが収穫できるようになりました！

平成26年度の獣害対策

平成26年度当初予算

1億310万円

目標1 有害鳥獣を減らす！

自然植生に目立った影響が出ないような数まで減らす取り組みを支援

- 捕獲檻設置等の補助金や捕獲の報奨金を増額して支給
- シカ雄成獣 5,000円→10,000円に増額
- イノシシ成獣 5,000円→8,000円に増額

目標2 農地などへ寄せ付けない！

農地を防護柵で囲むなど、地域ぐるみで野生鳥獣が寄り付かない環境を整備

- 防護柵設置の指導や補助
- 地域獣害対策協議会の設立や活動への補助
- 追い払い用のロケット花火などの支給
- 山林と農地の境界に大規模な緩衝帯を整備

今後の取り組み

- 獣害対策の三本柱の取り組みを引き続き推進
- 捕獲が困難で広いエリアを行動するサルについて、行動範囲と頭数を把握
- 近年目立つアライグマによる農作物への被害や屋根裏をすみかとする生活環境被害への対策を充実